

子ども司書16名が誕生しました

7月23日から30日にかけて、2020年度(第5期)五所川原市子ども司書養成講座が開催され、市内の小学4～6年生16名が、図書館や司書の仕事について9回の講座を受講しました。最終課題を提出した16名全員が、新たに五所川原子ども司書として認定されました。どのような内容を学んだのか、簡単にご紹介します。

第1回 図書館のこと・司書のこと

図書館とはどんなところなのか、歴史、司書の仕事について、難しい法律と合わせて学びました。五所川原市立図書館の見学もしました。



第2回 NDCってなあに？

図書館の本の背にはってあるラベルの意味とそこに書かれている日本十進分類法(通称:NDC)について、クイズなどをしながら学びました。



第3回 カウンターのお仕事にちょうせん！

図書館の仕事といわれてみなさんがいちばんよく想像するカウンターの仕事について学びました。返却された本を棚に返す「排架(はいか)」や貸出を体験しました。



第4回 本はどうやってできているの？ 第5回 めざせ！本のお医者さん

本が出版されるまでの流れと本の仕組みについて学びました。また、図書館の本の修理方法を学び、実際にやぶれたり、ページがとれてしまった本を直しました。



第6回 レファレンスってなあに？

調べもののお手伝いをするレファレンスについて学びました。図書館では様々なことを調べることができます。それを体験するために新聞などを使って「自分」について調べ、まとめました。



第7回 本を紹介してみよう！

展示やブックトークなど、本を紹介する方法を学びました。そしておすすめの本のPOPを作りました。作ったPOPは市立図書館児童室で見ることができます。

第8回 図書館にいてみよう(学校図書館の見学)

公立図書館と同じところ・違うところを学ぶために五所川原第一中学校と金木小学校の学校図書館(図書室)の見学に行きました。金木小学校では、本をNDC順に並べる「棚整理」もしました。



第9回 読み聞かせにちょうせん！

読み聞かせについて、読み聞かせが持っているパワーや本の選び方、読むときのポイントなどを学びました。そして、2グループにわかれて、おはなし会をやってみました。

16名のみなさん、おつかれさまでした

&これから、よろしくおねがいします

五所川原子ども司書の今後の活躍にご期待ください！

